

わたしたちの暮らしは
地球上で一つにつながり合っています。
食べ物を口にするとき、洋服を着るとき
買い物をするとき身の回りのモノがどこから来て
誰がつくったものなのか。

地球上に生きる多様な命が調和し分かち合い、
ともに輝き穏やかな未来をゆっくりと育むために。

買うものを「選ぶ」という一人ひとりの
小さな行動から、未来が始まると信じて。
もう一つの選択肢として“フェアトレード”を。

地域と世界を、そして今と未来をつなぐ
“地球とのフェアトレード”

タウンとなったこれからがまた
新たな始まりです。



フェアトレード名古屋ネットワーク(FTNN)より

国際フェアトレードタウンなごや宣言

平成27年9月19日

フェアトレードは、開発途上国の原料や製品を適正な
価格で継続的に購入することにより、生産者や労働者
の生活改善と自立を目指していくもので、その理念
は、環境・貧困・人権・平和・開発など地球規模の課題解
決に貢献するとともに、わたしたちの暮らしを見つめ
直し、交流の促進や賑わいの創出にもつながるものと
考えます。

フェアトレードタウンとなった名古屋市では、市民一
人ひとりの買い物を通じて、“地球とのフェアトレー
ド”により、まちぐるみでフェアトレードを推進し、地
域の絆を深めます。

名古屋市と名古屋市民は、フェアトレードの理念を支
持するとともに、市民への理解がより広がるように互
いに協力していくことをここに宣言します。

「みんなでやろみゃあ！フェアトレード！」

名古屋市長 河村たかし
フェアトレード名古屋
ネットワーク(FTNN)
代表 原田さとみ



発行/名古屋市環境局 環境企画部 環境活動推進課
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
TEL:052-972-2692
E-mail:a2693@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp
協力/フェアトレード名古屋ネットワーク(FTNN)

名古屋市公式ウェブサイト
<http://www.city.nagoya.jp/>で

フェアトレード | サイト内検索



FAIR TRADE TOWN NAGOYA CELEBRATION



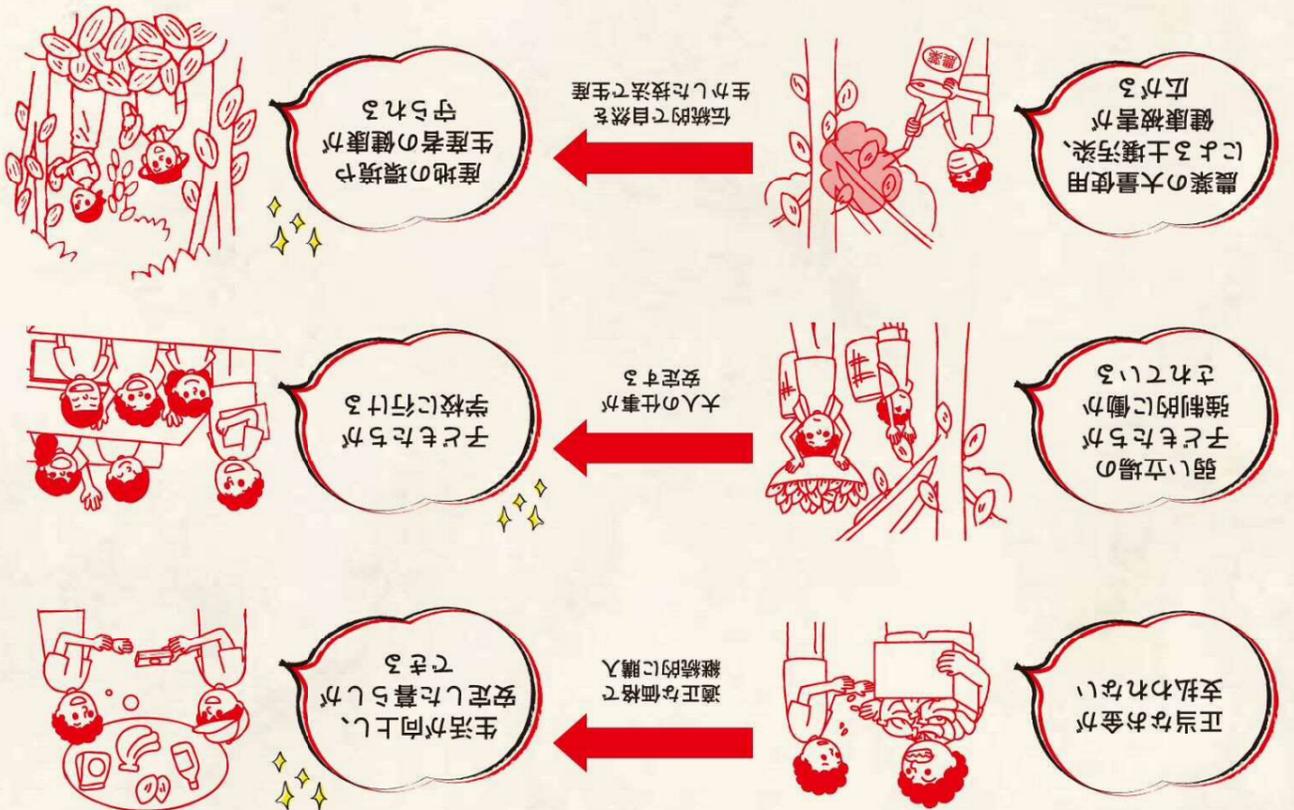
フェアトレードタウン名古屋誕生!

2015年9月、名古屋市が日本で2番目の
「フェアトレードタウン」に認定されました。
フェアトレードとは何か、フェアトレードタウンとは
どんなものかを知って、選んで、参加してみませんか!



*ESD...Education for Sustainable Development 持続可能な開発のための教育。

フェアトレードは、環境・貧困・人権・平和・開発など地球規模の課題を解決するために行動する担い手を育むというESDの
理念に通ずるものです。



わたしたちが原料や製品を安く大量に手に入れることが、開発途上国で多くの方が低賃金で働き、貧困に苦しむ一因となつていきます。また、生産性優先のため農業の大量使用による土壌汚染や健康被害、森林伐採による環境破壊も引き起している場合があります。フェアトレードは、身近な買い物を通じてそうした問題を解決する仕組みです。

フェアトレードの普及は世界を幸せにする

フェアトレードタウン 6つのポイント

- ① 仲間を集め市民団体を設立しよう!
 - ② まちのみんなに知ってもらおう!
 - ③ 学校や職場でフェアトレード商品を取り入れよう!
 - ④ フェアトレードで街を盛り上げ、地域の絆を深めよう!
 - ⑤ フェアトレード商品の買える店を増やそう!
 - ⑥ 市長さんと議員さんに応援してもらおう!
- 「名古屋をフェアトレードタウンにしよう」という運動が、2009年から市民団体を中心に入スタート。15年3月10日、名古屋市議会でフェアトレードの理念を支持する決議が全会一致で可決。さらに、5月9日の「世界フェアトレード・デー」などや「河村たかし名古屋市長がフェアトレードの支持を表明し、基準をすべて満たしました。その後、フェアトレード名古屋ネットワーク(FTNN)から(社)日本フェアトレードフォーラム(FTF)にタウン認定を申請。9月19日の「環境デー」で正式に認定されました。
- 【フェアトレード名古屋ネットワーク(FTNN)】
13年1月、フェアトレードを推進してきた4つの団体が1つの団体としてまとまり設立される。様々な分野の委員で構成される。中部地区のフェアトレード推進活動の中心団体。
HP: <http://www.ftnn.net>

みんなでやろみゃあ! 地球とのフェアトレード

想像しよう 暮らしとの関わり

開発途上国と公平取引することを指して「フェアトレード」という言葉を使うのが一般的ですが、今後は、その意義を広くエシカル*な理念でとらえ、地域の特産品や、多様な命にとって大切な水や森などの自然に対してもフェアに取引することで、持続可能な未来を創る「地球とのフェアトレード運動」を進めることが求められています。わたしたちの暮らしとどのようにつながっているのか想像してみましょう。また、フェアトレードは、普段の買い物に取り入れてこそ意義のあること。どんな商品を選ばいいか、どこに行けば買えるのかを知って、広めましょう。

*エシカル…人や社会、地球にやさしい責任ある倫理的行動。

選ぼう フェアトレード商品

開発途上国から正当な価格で取引されたコーヒー、チョコレート、スパイスの他に、衣類やアクセサリなどがあります。フェアトレードタウンとなった名古屋市内では約250の店で取り扱われています。また、国内で作られた「地元の野菜」「工芸品」など地域のめぐみその一例です。



マップはフェアトレード名古屋ネットワーク (FTNN) のウェブサイト <http://www.ftnn.net> で閲覧可能

理解しよう フェアトレード関連の講座やイベント

毎年5月のフェアトレード月間に開催される「世界フェアトレード・デー・なごや」や、「なごや環境大学」の講座などに参加して、フェアトレードへの理解を深めましょう。



「世界フェアトレード・デー・なごや」は名古屋テレビ塔下で開催



「なごや環境大学」で行われたフェアトレードをテーマにした講座



【解説】持続可能な社会における「理想のフェアトレード」の姿を描きました。地域や伝統産業の活性化、また自然から恩恵を受ける水、大地、森などの資源に対してもフェアな取引をすることを理想とします。

フェアトレードQ&A

Q 実際何をすればよいのでしょうか?

「環境デーなごや」などのイベントや講座に参加することでその理念を知り、開発途上国の人々の生活を守るだけでなく、環境や生物多様性への配慮にもつながることを理解しましょう。その上で、買い物の際には、選択肢の一つとしてフェアトレード商品を取り入れてみましょう。



Q 商品が高価…。それはなぜですか?

生産者に対する適正価格を保証し、価格の中に産地の経済、社会、環境保全のために使われる費用も含まれています。安価なものには、生産者や産地に不利な条件を押し付け、低コストに抑えられているケースもあります。フェアトレード商品は高価ではなく、正当な価格なのです。

Q フェアトレードは寄付とどう違うのですか?

開発途上国では、一時的な寄付ではなく生産者に適正な賃金が支払われる長期的な仕事が必要です。正当な収入を得ることで生活が向上します。そして利益の一部を共同で活用し、生産者団体に必要な物を買ったり、学校を建てるなど、現地で話し合い、教育や福祉に使われます。



Q どうやって商品を探せばいいのでしょうか?

商品の中には、世界共通で使用されているラベル(下記)を表記しているものがあります。その他、国内外の生産者や産地と直接取引して仕入れたフェアトレード商品を扱っているところもあります。スーパーなどではラベルの有無を参考に、フェアトレード商品を中心に扱う店なら店員さんに尋ねてみましょう。



名古屋の環境とフェアトレードのつながり

- 1999年 藤前干潟の埋立計画中止
ごみ非常事態宣言 発表
- 2005年 愛・地球博(愛知万博) 開催
- 2010年 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10) 開催
- 2014年 ESDユネスコ世界会議 開催
- 2015年 フェアトレードタウン名古屋 誕生

ここ名古屋では、ごみ問題からはじまり、国際的な会議やイベントの開催など、様々な出来事を経て、世界とのつながりや環境保全活動への意識が高まりました。名古屋市がフェアトレードタウンになった今、「普段の買い物でみんなの暮らしや自然を守る」ために、行動の輪を広げましょう!